

「子育て情報」発信中!

子育て支援センターだいせん

朝の陽ざしがたつぷり入り、明るくて、ぬくぬくポカポカ、子どもたちがとても過ごしやすいお部屋、そこが「子育て支援センターだいせん」です。

毎月開く「育児学級」や「どんぐり広場」などの催しでは、親子で製作をしたり歌や体操などをしたりして楽しんでいきます。

10月には、「被災ママに聞く子連れ防災入門編」と題して14年前にあった鳥取西部地震の教訓をもとに、小さな子どもを連れて被災したお母さんたちが、どのように過ごされたのか、どんな事を困ったのかというお話を聞きました。

非常持ち出し品の備え方や、家庭で電気、ガス、水道が使えないなか、防災用品を実際に使う避難訓練をする必要性、いざという時に助けてもらうのは地域の方々なので、日ごろから近所づきあい

を大切にしてほしいということとを教えていただきました。

また、子ども読書アドバイザーを招いて、乳幼児期からの絵本の読み聞かせの大切さを、実践を交えて話していただきました。

いずれも親子で聞けるお話で、時には笑い、共に語り合う、ほのぼのとした研修会でした。

このほか、センター内には子育てに関する色々な情報があります。子育て中のみなさんの知りたいこと、やってみたいことが、きつとあるはず。どうぞみなさんあそびに来てください!



▲絵本の世界に引き込まれて、親子で楽しい時間を過ごしました

地域とともに「なわ通学合宿」

名和公民館

名和小学校4、6年生13人が、10月1日(水)からの5日間、御来屋漁村センターで「なわ通学合宿」を行いました。

子どもたちは、朝夕の食事作りや掃除・洗濯などの共同作業を行いながら学校に通いました。合宿中は「圓福寺(御来屋)で座禅体験」や、6年生が企画した「名和神社で肝試し」などさまざまな体験を通して、「仲間づくり」「自分づくり」「思い出づくり」を目指しました。

4日(土)に、地域との交流を深めようと、センター近



▶漁村センター前で記念写真

流を深めようと、センター近

隣の皆さんや参加児童の保護者を招待して「ふれあい交流会」を開きました。企画班が手作りの案内状を持ち、1軒1軒訪問して呼びかけたところ、100名近い来客となりたいへん賑わいました。

炊出し班は「カレーライスは「おにぎり&豚汁」の2つのメニューを用意し、一食100円で提供。この売上げは「広島土砂災害義援金」として送金しました。

通学合宿での活動は思い出を作るだけでなく、自ら学び、考える力を身に付けます。

これからも地域の皆様のご協力を得ながら、通学合宿事業を推進します。

上大山第1遺跡発掘調査 現地説明会を開催!

6月中旬から行ってきた上大山第1遺跡(大山町加茂地内)の発掘調査が終了しました。

調査成果の現地説明会を10月18日(土)に行い、町総合文化祭でも「発掘調査速報展」中に遺構の写真や出土遺物を展示しました。

上大山第1遺跡では竪穴住居跡6棟、掘立柱建物跡11棟、柵列跡7基、落し穴跡14基などの遺構や多量の土器などを検出しました。

竪穴住居や掘立柱建物は弥生時代終わり頃から古墳時代初め頃(紀元3世紀中頃から4世紀初め頃)を中心とするもので、当時この付近に営まれていたムラの様子などが分かりました。

(社会教育課文化財調査班)



▲現地説明会の様子(手前は2号竪穴住居跡)